

令和3年度第1回香美市未来の森づくり委員会会議録（要旨）

1.開催日時、場所	令和3年10月29日（金）午後2時00分～ 香美市中央公民館2階会議室
2.出欠、傍聴者数	出席者 16名（委員12名、事務局4名） 傍聴者4名
3.議題	<p>（1）令和3年度各部会の活動等中間報告について</p> <p>（2）香美市未来の森づくり委員会 第2期（令和4～6年度）の活動等について</p> <p>（3）令和4年度森林環境税活用事業について</p> <p>（4）その他について</p>
4.会議内容	<p>（1）令和3年度各部会の活動等中間報告について</p> <p>①森づくり部会から森づくり構想（案）の変更について報告。以下、委員からの主な意見等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終案を委員会開催前に渡してほしい。 ・キャッチフレーズを考えてはどうか。 ・市民の手に渡るものについては、分かりやすい表現に配慮してもらいたい。 <p>（事務局）</p> <p>次回の本委員会の開催前に委員に最終案を提案する。市民に広報するPR版は別途作成予定なので、そちらについてはデザインや表現を分かりやすいものにしていく。</p> <p>②市産材活用部会から、市が実施する公共建築物整備における市産材活用の検討、製材所支援について報告。以下、委員からの主な意見等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美良布保育園建設について、JAS材を使用したいの町へ聞き取りに行ったということだが、市内製材はJAS材を取り扱えない。市内製材所で製材した市産材を活用してもらいたい。 ・市内製材所を活用するなら、木材協会に相談に行くこと自体どうか。 ・保育園の建設方法等についてはまだ検討中ではないのか。 <p>（事務局）</p> <p>いの町に聞き取りに行ったのは、市有林の市産材を活用するため、木材協会に相談して町有林材を活用した実績のあるいの町に聞き取りに行ったもので、JAS材とは関係ない。保育園の整備方針等は検討委員会及び教育振興課で決めるもので、農林課で決められるものではないので、積極的に情報提供をしていき、市産材及び市内製材所が活用されるように働きかける。</p> <p>③担い手対策部会から大工の支援について、他課を交えた検討会を実施することの報告。以下、委員からの主な意見等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前進していると思うので、ぜひ検討を進めてほしい。 <p>④教育普及PR部会から、かみんぐkids木の学校、かみんぐBABY木のギフト等について報告。以下、委員からの主な意見等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かみんぐBABY木のギフトについて、転入者でも申請できるのか。 ・1万円以上のギフトの申し込み率が低いならその分はやめてもいいのでは。 <p>（事務局）</p> <p>転入者でも1歳未満なら対象となる。1万円超のものも一定の実績はあ</p>

り、ニーズはあると思うので、継続したい。

(2) 香美市未来の森づくり委員会 第2期（令和4～6年度）の活動等について

事務局から第2期の活動方針や委員会の設置方法の変更について説明。以下、委員からの主な意見等。

・森づくりに関する市民の意見を集めることについては、市民からの声を集めやすい方法を検討してもらいたい。WEB活用だけにすると、高齢者などは置き去りにされる事も懸念される。

(事務局)

広報への掲載や、無作為に抽出した市民にアンケートを送付するなど、市民の森づくりに関する意見徴収をする際には工夫して実施することを検討する。

(3) 令和4年度森林環境税活用事業について

事務局から令和4年度森林環境税活用事業の新規取組等について説明。以下、委員からの主な意見等。

・公道周辺林整備の新規事業については、イベント時などに市民に広報し、周知しないと要望が出てこないのではないかと。

・森づくり構想PR版については、市民に分かりやすいデザインにし、PRするための予算も確保してもらいたい。

(事務局)

公道周辺林整備については、来年度、試験的に1地区での実施について検討している。本格的な市民からの要望の取りまとめ方法等は、他市町村の事業も参考にしながら、今後検討していく。森づくり構想PR版については、まず原案の作成をしてからデザイン及びPR方法について検討する。

(4) その他について

令和3年度の第2回の委員会開催時期について

令和4年2月24日午後開催することに決定した。

以上